

## 今年、灯台150周年です

現在、全国にある灯台の始まりは、明治の初めに導入された洋式灯台にさかのぼります。

江戸末期、英・米・仏・蘭の4か国が、関門海峡を舞台に長州藩と戦った下関戦争の賠償の一環として、開港した各港への灯台の設置を約束させ、1番目に建設された灯台が、神奈川県横須賀市にある観音埼灯台です。

明治元年11月1日に、この観音埼灯台の建設を着手しており、この年を基点として、平成30年は、灯台の近代化150周年にあたります。

## 対馬の主な灯台

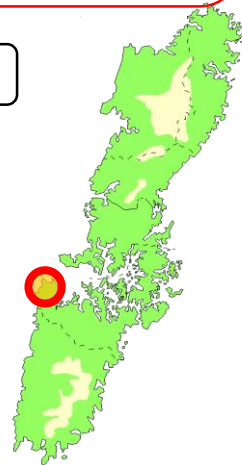
灯台150周年にあたり、対馬に設置されている主な灯台を毎月順番にご紹介します。

### その10 郷埼灯台

郷埼灯台は、浅茅湾の入口に位置し、対岸近傍に設置された牛島沖灯浮標とともに浅茅湾の西側入口を示し、対馬海峡西水道を航行する船舶の重要な役割を果たしている灯台です。

郷埼灯台の光の強さは、5,600カンデラで、約23キロメートル先の海を照らしています。

郷埼灯台 (長崎県対馬市美津島町)





郷	崎	灯	台
初点	昭和35年12月		
改築	平成4年2月		

③特殊潜航艇の掩蔽壕

【参考】

郷崎灯台の周りには、郷崎砲台などの陸軍の施設（①監視哨所、②掩灯所、③特殊潜航艇の掩蔽壕等）多数があります。